様式第３号（第６条関係）別紙

議員特別研修実施報告書

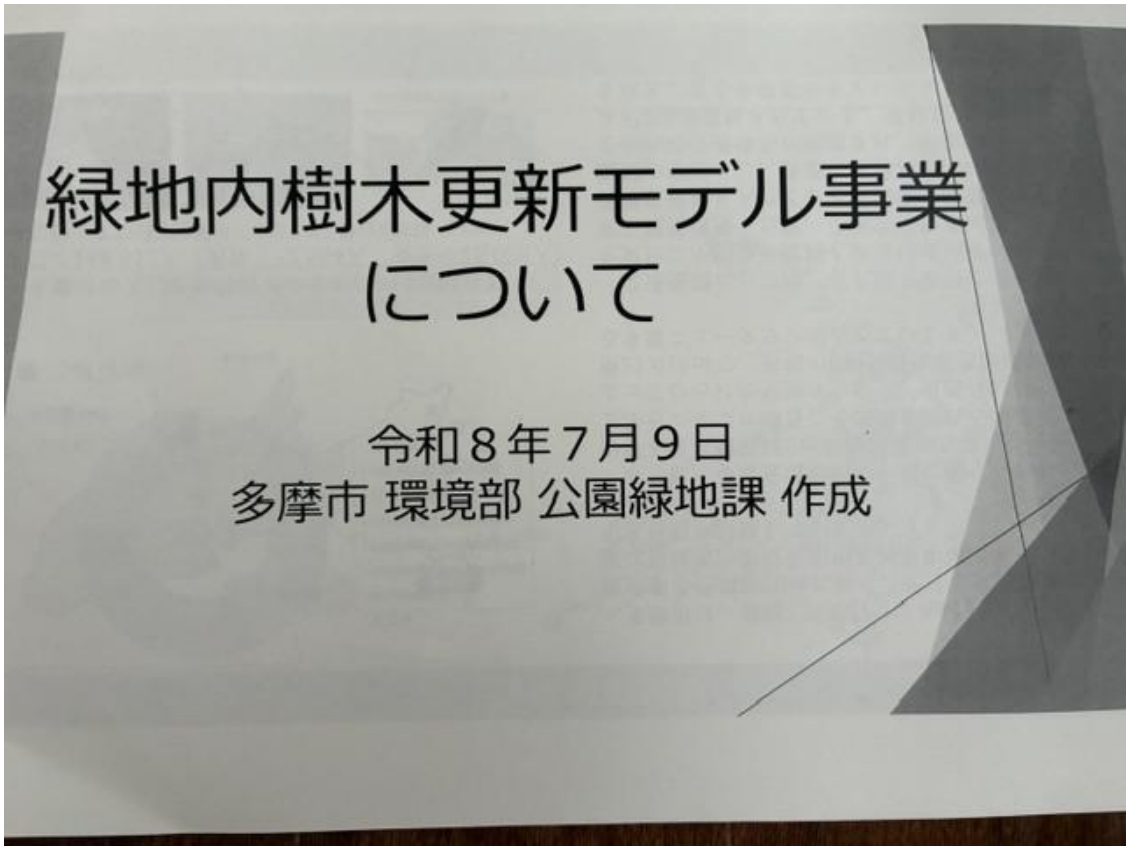
報告議員名	佐藤　誠洋	報告日	令和８年７月３１日
調査研究・研修等 名　　称	会派さきがけ特別研修		
実　施　日	令和８年７月９日～１１日		
会　　場	東京都多摩市・衆議院議員第一会館		
調査研究・研修等の 概　　要	多摩市 〇緑地内樹木更新モデル事業について 〇マイシティレポートについて 議員会館 〇クマ対策について 国会図書館の訪問		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙報告書のとおり		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。
※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

☆　東京都多摩市　緑地内樹木更新モデル事業について

多摩市は、高度成長期時に「多摩ニュータウン」を造成し、東京のベッドタウンとして栄えた。

公園緑地が都内一整備されたまちだが、造成時に植栽した樹木の管理が課題となっており、その取り組みについて研修した。



特徴的な点は、

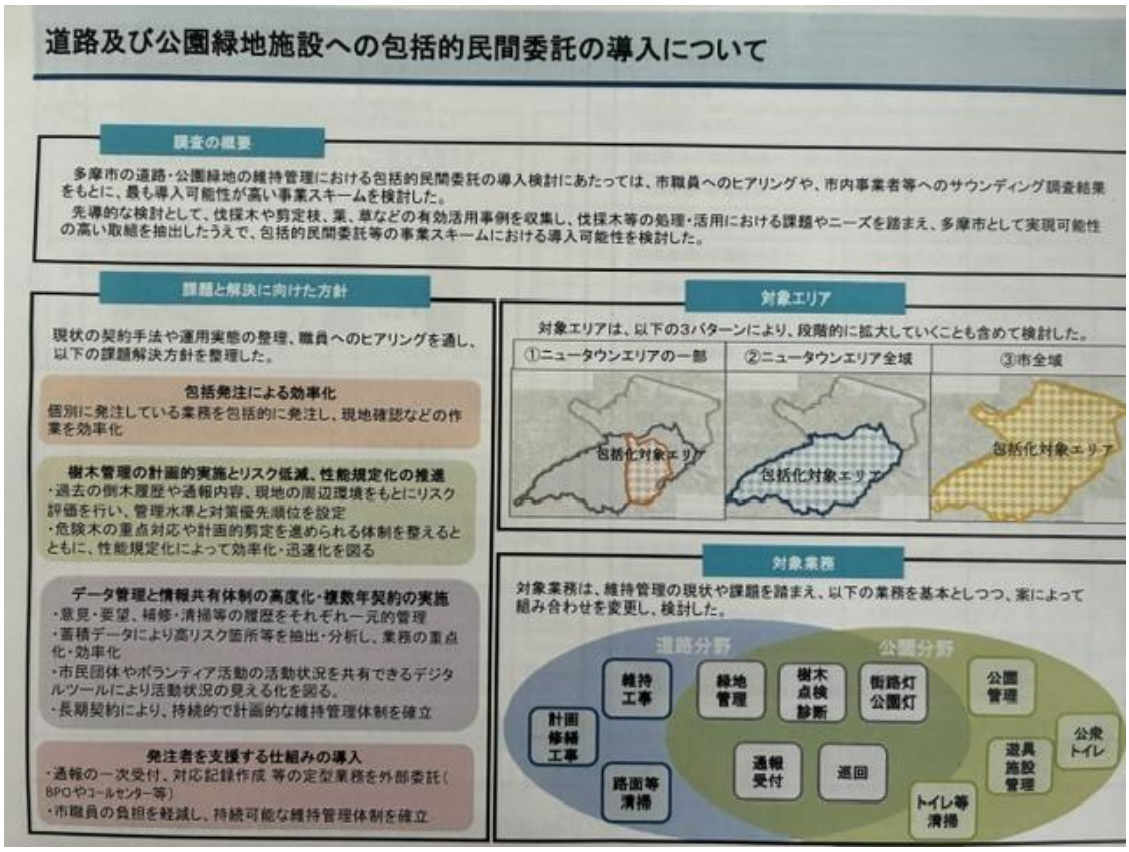
１，「グリーンボランティア活動団体」が多数あり、民間による管理を取り入れている。

２，大径木、高木は業者に委託し、「萌芽更新の手法」を取り入れて、その後の管理は民間ボランティア団体によることで財政的負担を減らしている。

３，計画はコンサルに頼らない市独自計画で、都の補助金、森林環境譲与税を財源とし、一般財源はない。



街路樹の管理も課題となっている。管理部局では計画を作り対応している。役所内では縦割りの管理であるが、市民にとっては、公園の樹木も街路樹の管理も同じであり、対応の統一性を求められている。



そこで、市は、「道路及び公園緑地施設への包括的民間委託の導入」を検討し、具体的に事業化に向けてＲ９年度プロポーザルの準備を進めている。透明性の確保と市内業者育成の課題を共有した。

また、アプリによる穴ぼこ通報のシステムは、横手市より進んでおり、導入経費も安価なことから、市は、先進自治体の取り組みを検討すべきである。



☆　地元代議士の御法川事務所を訪問し、国会を案内して頂いた。国会運営忙中委員長室で代議士と１時間以上の懇談を行って頂いた。

今年のコメ買取価格の大幅な下落を懸念する代議士は総理に政府備蓄米の買取を進言しているとのこと。日本国の安定的な発展のために、コメは経済バランスと切り離して生産意欲を高めるべきである。

☆　クマ対策の官僚から直接説明を受けた。環境省以外にも、関係する各省庁から様々な補助メニューがあるようだが、「受け取る側、自治体の能力差でこのメニューを活かしきれないのではないか」と懸念した。メニューは多くあったが、現実的であるのか、実効性があるのか疑問を投げかけた。クマ問題は、地域の衰退と一致している。短期間で積極的な間引きが必要であるが、それを誰が行うのか、行えるのか。ガバメントハンターは１年目からライフルで射撃できるようだが、自治体間の能力差（政策実現能力）が懸念される。

☆　最終日は国会図書館を訪問した。